



西念寺だより

神無月号



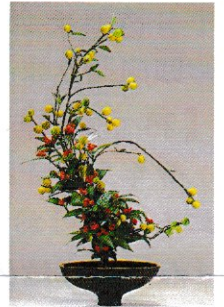
平成30年10月25日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

生かされている事への感謝と自覚

観測史上例のない猛暑や各地に大きな被害をもたらした台風の来襲など、異常続きだった天候もようやく落ち着き、実りの秋に相応しい爽やかな季節となりました。当山では来月21日から25日までの5日間にわたり、23年ぶりの開筵となります五重相傳會もいよいよ来月に迫り、御世話になる関係者との打ち合わせや最終準備に慌ただしい日々を送っております。



さて、10月も中旬を過ぎると繁華街ではハロウィンのポスターやお店のイベントが目立つようになります。アメリカでは子供も大人も、魔女やゾンビや悪霊の衣装をしてパーティーを行い、子供は「お菓子をくれないといたずらするぞ」と大声で叫んで近所の家々を巡ります。こうして子供たちを中心としたキリスト教のお祭りになったハロウィンは、もともとは農耕民族であるケルト人の冬の祭りだったそうです。

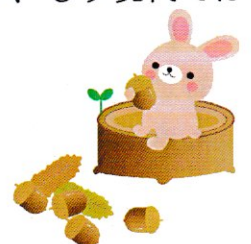


ケルトの暦の大晦日に当たる10月31日は、御先祖が家々に帰って来られると同時に、魔女や悪霊が**ばっこ** 跋扈する日とも考えられていました。農民たちがたき火を焚き、先祖の霊を家に導き入れ、悪霊たちを焼きつくし、その年の実りを感謝して、新年の豊作を願い家畜を守ろうとした祭りでした。これがキリスト教にとり入れられ、11月1日の万聖節の前夜祭としてのハロウィンとなりました。

新年が11月から始まるというのも面白いですが、洋の東西を問わず農耕社会に生きる人々の考え方の何と似ていることかと感心させられます。御先祖を火や香煙によって迎えるお盆を想い浮かべた方もおられるでしょう。また豊作への感謝というところから秋祭りを連想した方もいるでしょう。或いは**けが** 穢れや災いや悪霊を焼きつくすことによって新年を迎えるということから、東大寺二月堂の修二会での大たいまつにも共通しています。

現代では、都市化と地方の過疎化の進行で、もはや農耕社会とは言えなくなりました。一年間の区切りも学校や多くの会社などは4月が新年度となって、1月を新年の始まりとする農耕社会の時間観念とは違ってきています。1月に新年を迎え、御先祖に豊作を祈願する正月や春祭り、お盆や豊作を感謝する秋祭り等々、一年間の日々のなかで常に御先祖や目に見えない力を頼り祈り感謝し共に生きてきた生活の心は、もう現代では失われてしまっているような気がします。

科学万能の現代に生きる私たちは、いつの間にか自分たちの力だけで何でもできると傲慢になってしまっているように思えてなりません。ハロウィン等、様々な行事を通じて洋の東西を問わず古**いにしえ** から大自然の営みの中で、御先祖や多くの方々のご縁のお陰で生かされていることにもっと感謝の気持ちと自覚を新たにすることが肝要ではないかと思えます。



[裏面に続く](#)

【秋の彼岸会の様子から】

9月20日から26日まで、秋の彼岸会を厳修いたしました。23日(日)のお中日には多くの壇信徒の方々にお参りいただきまして誠にありがとうございました。

今回は法要の後の住職と副住職の法話では、御参詣の皆様にお清聴いただき、心より厚く御礼申し上げます。

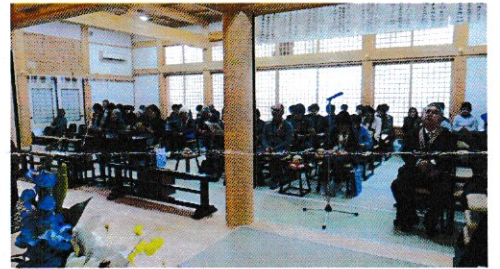


また、お彼岸期間中、遠方からも多くの方々にお参りいただき、御回向をいただきました。中日法要で全体回向、彼岸の入りと結願法要で施主様毎に回向させていただきました。御回向賜りました皆様方、誠にありがとうございました。(別紙をご覧ください)

【お十夜法要のお知らせ】

今年もお十夜法要を下記の日程で行います。(別紙参照) お十夜とはお念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めて「南無阿弥陀仏」とお念仏をお称えする大切な法会です。

なお今回は五重相傳會開筵のため、掛出工事を実施しており、本堂正面から入堂いただくことが出来ません。



(昨年のお十夜法要の様子)

御不便をお掛けしますが宜しくお願い申し上げます。

- ・ 11月3日(土) 午後2時30分より写経終了後、本堂にて厳修いたします。

昨年末にお知らせした日時と変更しております。悪しからず御容赦ください。

【建築資金寄進のお知らせ】

今回、下記の方から建築資金の御入金を賜りました。鐘楼、観音堂、山門等の第二期工事を控え、多くの資金が必要な中、厚く御礼申し上げます。

また、毎月継続して分割御寄進いただいている方も多く、誠に有り難うございます。

- ・ 建築資金 金100万円 施主 北川 司郎様

【院号料御寄進のお知らせ】

今回は下記の方より院号(什器什物基金)料を御寄進いただきました。誠に有り難うございました。御寄進いただきました方の御芳名は本堂内にも掲出してあります。

- ・ 院号(什器什物)料 金70万円 為 教徳院願譽浄三純亮居士 (大崎 三郎様)
為 至誠院覚譽智見浄信大姉 (大崎 百合子様)
施主 大崎 三郎様
- ・ 院号(什器什物)料 金35万円 為 誠諦院薫譽孝道勝信大姉 (故 香村 勝様)
施主 香村 侃彦様
- ・ 院号(什器什物)料 金35万円 為 示教院賢譽光覚正真居士 (故 齋藤 一正様)
施主 匿名 希望様

【永代祠堂料御寄進のお知らせ】

今回は下記の方々より永代祠堂の御寄進をいただきました。誠に有り難うございました。御寄進いただきました方の御芳名は本堂内にも掲出してあります。

- ・ 永代祠堂料 金50万円 為 猛譽勇進純武禅定門 (故 橋本 武様)
施主 橋本 喜久様
- ・ 永代祠堂料 金20万円 為 北川家先祖代々菩提
施主 北川 富雄様 北川 貴義様